

三河・遠州地方の地域振興（むらおこし）PART-IV

松 林 光 彦

まえがき

この地域の地域振興の掛声は相変わらずでも、その実態は思うように進まない。特に、長い不況の出口が定まらない昨今、なおさらその停滞感は免れない。一方では、地域の過疎化は、よく見ると途切れることなく静かに進行している。この問題について学生の卒業（特別）研究を兼ねて調査研究を行った。

今回は東三河の中山間地にある7校の高校の、高校3年生の地域・生活の意識についてアンケート調査を行ってみた。調査は高校3年生として自分の将来の進路を考え、決める時期でもあり、また今まで生活してきた地域との対応をはっきりさせる時期でもある2学期の始めの9月初旬を選んで行った。

1. 東三河中山間地の「高校3年生の地域・生活に関する意識調査」

1.1. 調査方法

調査期間：1996.9.1～15

調査方法：配付回収式（学校に調査協力を依頼し、クラス単位で記入してもらった）

調査対象：東三河中山間地にある高校（黄柳野高校を除く7校）の3年生全員（年齢：17～18才、宝陵高校（女子）を除き他は男女共学）

サンプル数：1,300/1,046（回収率：82%）

調査依頼校：愛知県立 田口高等学校

愛知県立 本郷高等学校

愛知県立 鳳来寺高等学校

愛知県立 作手高等学校

愛知県立 新城東高等学校

愛知県立 新城高等学校

愛知県立 宝陵高等学校

なお田口、本郷、作手、鳳来寺高校には豊橋市を中心とした地域よりの遠距離通学者が地元出身者数と較べると比較的多く存在し、これらの人々には現在の居住地での事として回答してもらい、集計上はその他に算入した。

また、このアンケート質問用紙の掲載は本紙紙面数の関係で省略する。

1.2. 調査結果

注：MA表示以外はSA

(1). 回答者分布

居住者地域	合計 (人)	男子 (人)	女子 (人)	不明 (人)
豊川市、 一宮町	250	93	157	
新城市	346	166	180	
山間部：*1	252	121	131	
その他	193	113	80	
不明	5	2	1	2
合計	1046	495	549	2

*1: 設楽町, 鳳来町, 東栄町, 津具村, 作手村, 豊根村, 富山村の居住者
以下同様

(2). 学生の今後の進路予定

回答者全体では

居住者地域	進学希望	就職希望	未定
豊川市， 一宮町	60 %	38 %	2 %
新城市	70 %	28 %	2 %
山間部：*1	64 %	34 %	2 %
その他	43 %	49 %	8 %
回答者合計	61 %	36 %	3 %

回答者男子では

居住者地域	進学希望	就職希望	未定
豊川市， 一宮町	65 %	31 %	4 %
新城市	70 %	28 %	2 %
山間部：*1	61 %	38 %	1 %
その他	35 %	64 %	1 %
男子合計	59 %	39 %	2 %

回答者女子では

居住者地域	進学希望	就職希望	未定
豊川市， 一宮町	56 %	41 %	3 %
新城市	68 %	28 %	4 %
山間部：*1	62 %	28 %	10 %
その他	53 %	26 %	21 %
女子合計	62 %	32 %	6 %

(3). 今住んでいる所が「好き」か「嫌い」か？

回答者全体では

居住者地域	好き	嫌い	どちらとも 言えない
豊川市， 一宮町	51 %	8 %	51 %
新城市	38 %	8 %	54 %
山間部：*1	45 %	8 %	47 %
その他	29 %	14 %	57 %
回答者合計	39 %	9 %	52 %

回答者男子では

居住者地域	好き	嫌い	どちらとも 言えない
豊川市， 一宮町	38 %	10 %	52 %
新城市	42 %	9 %	49 %
山間部：*1	42 %	8 %	50 %
その他	25 %	17 %	58 %
男子合計	37 %	11 %	52 %

回答者女子では

居住者地域	好き	嫌い	どちらとも 言えない
豊川市， 一宮町	42 %	6 %	51 %
新城市	34 %	8 %	58 %
山間部：*1	47 %	7 %	45 %
その他	35 %	9 %	5 %
女子合計	56 %	40 %	8 %

（４）. 今住んで居る所で暮らして行きたい？
 回答者全体では

居住者地域	暮して行きたい	暮して行きたくない	やむを得ず暮す
豊川市，一宮町	53 %	41 %	6 %
新城市	42 %	50 %	8 %
山間部：*1	34 %	60 %	6 %
その他	45 %	50 %	5 %
回答者合計	43 %	50 %	6 %

回答者男子では

居住者地域	暮して行きたい	暮して行きたくない	やむを得ず暮す
豊川市，一宮町	45 %	48 %	7 %
新城市	48 %	44 %	8 %
山間部：*1	39 %	53 %	7 %
その他	46 %	49 %	5 %
男子合計	45 %	48 %	7 %

回答者女子では

居住者地域	暮して行きたい	暮して行きたくない	やむを得ず暮す
豊川市，一宮町	58 %	36 %	6 %
新城市	37 %	56 %	7 %
山間部：*1	30 %	66 %	4 %
その他	43 %	52 %	5 %
女子合計	42 %	53 %	5 %

……以下紙面の都合上居住者地域別クロス表
 一部の性別クロス表を省略する……

（４-1）. 上記の「暮して行きたい」人の主な理由：(MA)

1. 住み慣れた所だから……………78 %
2. 緑が多く水が美味しい……………49 %
3. 知合が多く住み易い……………40 %
4. 家土地があり親と一緒に住みたい
 …………… 21 %
5. 働く場所がある……………10 %
6. (家から通学出来る)進学先がある
 …………… 4 %
7. 伝統文化がある…………… 4 %

（４-2）. 上記の「暮して行きたくない」人の主な理由：(MA)

1. 買物に不便…………… 63 %
2. 遊び場，娯楽施設が少ない……52 %
3. 進学したい学校が無い……………48 %
4. 働き口が少ない……………35 %
5. 素敵な人との出会いが少ない…24 %
6. 因習，しがらみが多い……………13 %
7. 道路，通信，上下水道不備……10 %
8. 病院，医療施設不備……………10 %
9. 冬寒くて道路も凍り外出が大変
 …………… 9 %

（４-3）. 上記「暮して行きたくない」人の，暮したい場所：(MA，3つ迄)

1. 名古屋，その近辺……………59 %
2. 東京圏…………… 41 %
3. 京阪神圏…………… 34 %
4. 外国…………… 25 %
5. 豊橋，その近辺……………19 %
6. 上記以外の中部圏（東海中心で）
 …………… 38 %
7. その他の日本国内……………15 %

（４-4）. 上記の「暮して行きたい」または「暮して行きたくない」と思うようになったきっかけは？：(MA)

A. 外部的要因の主なもの(影響を及ぼされているものとして)

1. マスメディア…………… 40 %
2. 友人・先輩…………… 28 %
3. 両親, 祖父母, 兄弟, 親戚…………… 26 %
4. 先生…………… 2 %

B. 内部的要因の強い主なもの(間接的には上記Aの影響があるが)

1. 遊び場, 寛ぎの場の存在…………… 51 %
2. 働き口の存在…………… 33 %
3. 進学先の存在…………… 33 %
4. 緑, きれいな空気・水等の自然環境の存在…………… 25 %
5. 素敵な人とのふれ合いの場の存在…21 %
6. 話を聞き, 旅行に行ってみて…………… 11 %
7. 好きなスポーツ・芸術・文化に引かれて…………… 11 %

(5). 地域の伝統文化の継承について

性別	思う	思わない	関心が無い
男子	25 %	11 %	64 %
女子	32 %	5 %	63 %
合計	29 %	8 %	63 %

(6). 地域の方言について

性別	愛着を感じ広めたい	ダサイから使いたくない	関心が無い
男子	15 %	12 %	73 %
女子	11 %	15 %	74 %
合計	13 %	14 %	73 %

(7). 結婚相手としてこの地域の人が良いと思うか?

性別	思う	思わない	どちらとも言えない
男子	12 %	18 %	70 %
女子	7 %	23 %	70 %
合計	9 %	20 %	71 %

(8). メディアへの接触度

(1日当りの平均, 数字だけの単位は分)

種類	接触無し	0-10	11-30	31-1H	1H-2H	2H-以上
テレビ	2 %	1 %	4 %	17 %	35 %	42 %
ラジオ	57 %	7 %	12 %	11 %	9 %	5 %
新聞	13 %	59 %	25 %	2 %	0 %	0 %
雑誌	19 %	16 %	35 %	22 %	5 %	3 %
書籍	41 %	12 %	21 %	17 %	5 %	4 %
ゲーム	62 %	5 %	9 %	11 %	6 %	6 %
レコード	39 %	5 %	15 %	20 %	10 %	11 %
ビデオ	57 %	4 %	9 %	15 %	10 %	5 %
電話	28 %	20 %	18 %	18 %	10 %	6 %

(9). スポーツ, お稽古事, 友人とのオシャレ, 家族団楽など

(1日当りの平均, 数字だけの単位は分)

種類	接触無し	0-10	11-30	31-1H	1H-2H	2H-以上
スポーツ	58 %	9 %	15 %	11 %	5 %	3 %
お稽古事	89 %	1 %	3 %	3 %	3 %	1 %
友人とのオシャレ	14 %	7 %	17 %	26 %	13 %	23 %
家族団楽	17 %	17 %	29 %	22 %	8 %	6 %

2. 調査結果より

この地域の次の世代のリーダーとして活躍して欲しい高校3年生のイメージが, 今回の調査結果からはあまり現れて来ていない. 何回か調

査を重ねてみないと判らないポイントが多い。
今回の調査では、東三河中山間部の居住者を

大学、研究機関の設置
労働環境の良い職場の拡充

- ・地方都市および平野部に近いエリアとして **豊川市/一宮町**
- ・山間部との中間地とのエリアとして **新城市**
- ・山の中のエリアとして **山間部**（設楽町，東栄町，鳳来町，津具村，作手村，豊根村，富山村）
- ・**その他**（豊橋市，宝飯郡，田原町など，なおこのジャンルに属する学生層のデータは別途検討する必要があるが）

の4層に分けて夫々の特性を考慮しながら分析した。

進学率のデータで、層について、男女とも異なるのは当該地の進学校の取込，およびその進学希望学生のデータを巧く取入れなかった為でもある。

今住んでいる地域は嫌いではないけれど、そこで暮しては行きたくないこの様に思っている人が、 の山間部の人達程多いのは、今後ともこの地域は過疎化の傾向は増大する。そしてやむを得ず暮して行かなくてはならないと思っ

ている人も、いずれかは動く可能性のある潜在者達であろう。

また女性の方が男性よりも、今住んでいる地域で暮したくない、結婚相手としてこの地域の人とは結婚したくないと思っ

ているのも、地域振興のためには大きな障害になる。

今回のアンケートの最後の質問で「貴方はこの地域が、将来どのようになって行けば良いと思いますか？下記に記入して下さい。」と尋ねてみた。記入されていた目ぼしい回答（要約）は次のようなものであった。

自然環境の保存
地域の都市化
各種インフラの整備充実（特に交通，道路，商店，医療施設等）
テーマパーク，遊戯施設の設置

この回答の中で、「現状のままの自然を保って欲しい」と言うものが意外に多かったが、文章を読んでみると、今まで住んで来た地域は、あくまでも「ふるさと」としか意識出来ないようにもとれる。これからの人生を、高校を卒業したら都会に出て大学・就職、または就職、結婚も都会生活を前提に考えるパターンしか選択肢が無いと思うからだろうか？

確かに現状では判る気がするが、学生自身これをどうしたら良いか、どうすべきかについてもっと考えて欲しい気がする。一方、夫々の地域ではもっと高校生との対話、家庭内での話合いの場を作って、その地域の生活者の立場で一緒に考えて欲しい。

また、高校生の地域・生活の意識形成上、学校の先生の影響よりメディア（特にマス・メディア）の影響が直接的、間接的に如何に大きいか良く判る。その中でも映像・音声・イメージによるものが圧倒的に強い。この分野はこれからの重要な研究テーマでもある。

おわりに

今回は若者と地域振興との対応を考える第一歩として地域の高校3年生を対象にアンケートを行ってみたが、まだ検討するには十分な資料ではないので、あと何回か続けて行きたい。今回は調査結果のデータを中心にしたのみで、研究中の対応策、提案は次回に行う。

このアンケート調査について大変ご協力頂いた、7校の高等学校の校長先生以下関連の諸先生方、および回答頂いた3年生の皆さんに厚くお礼を申し上げます。